盆提灯・仏壇
仏具・香・香炉
御宮・神具
創業一七〇周年
鎌倉の 温古堂
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

8月1日号
2017年(平成29年)
第461号
毎月1日発行
(一部税込108円)
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町２丁目８番１３号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

お堂の基礎や池を再現
永福寺跡の復元工事終了

鎌倉市二階堂の国指定史跡永福寺跡の復元・整備工事が6月に完了し、7月17日に行われた現地報告会に3百余人が参加した。

永福寺は、源頼朝が1189年の奥州合戦で滅ぼした藤原泰衡らの鎮魂の目的で建立。平泉の中尊寺を模して造られたといわれ、1192年に中心の二階堂、1194年までに両脇の阿弥陀堂、薬師堂が完成した。頼朝没後も寺院としてだけでなく、幕府の迎賓館としても使用され華やいだが、火災による消失、再建を繰り返し、1405年の火災ののち廃絶したと考えられている。

1983年から1996年にかけて行われた発掘調査で建物、庭園の規模や配置が明らかになった。鎌倉市は2007年に整備工事に着工し、約1万5800平方メートルの整備地に池、二階堂、阿弥陀、薬師両堂の基壇などを再現した。池には当時の構造で裏山の谷などから水を引き込んでいる。総工費約8億1500万円。

開始前から大勢の人が訪れた報告会では、市文化財課の職員の案内で敷地内を巡った。バーチャル映像視聴体験で、復元した建物の映像を見たり、建物の廊下から池を眺めたり、橋の上からお堂を見たりして古(いにしえ)の風景に思いを馳せる人も多かった。「整備前は一面ススキ野原だった」となつかしむ人もいた。

整備委員会の二階堂親和会・大久保義隆会長は「史跡を広く知ってもらい、今後の維持管理、活用を考えていくことが重要だ」と話していた。

開場は午前9時～午後5時(11月～3月は4時半まで)、入場無料。発掘調査などの出土品は鎌倉歴史文化交流館で展示中。問い合わせ文化財課☎0467・61・3857

史跡永福寺跡の報告会に訪れた人々

夜空を彩る4千発
第69回鎌倉花火大会

第69回鎌倉花火大会が7月19日由比ガ浜・材木座海岸で開かれ、打ち上げられた約4千発の花火を15万人が見物した(主催者発表)。

今年4月、いったん中止が発表された鎌倉花火大会は、鎌倉市が市民有志の呼びかけを受けて開催することが決まり、市民らで構成された実行委員会が1千万円を目標に寄付や協賛を募った。5月末までの40日間で約1200万円が集まり、花火の打ち上げ数を当初予定していた2500発から4千発に変更。市民参加型の企画として大会パンフレットの表紙も公募の市内の小中学生の絵で飾られた。由比ガ浜海岸に、大口の寄付をした個人や企業への返礼として高さ3㍍ほどの巨大砂像3体が制作され、大会の雰囲気を盛り上げた。

フィナーレは水中花火やスターマインなど次々に打ち上げられ、空いっぱい広がって滝のように落ちてくる金色の光の帯に大きな拍手が起きた。

鎌倉 みほとけ紀行 (73)
補陀洛寺 十一面観音菩薩立像

題字は建長寺派管長 吉田 正道

文 永井宗直
写真 原田 寛

今年の夏はスーパー猛暑(造語ではなく、気象庁が発表した語)とか、梅雨はどこへやら、鎌倉の海はにぎわいそうです。

材木座の通りから少し入ると静かな補陀洛寺さまです。源頼朝公が鎌倉入りした翌年、御祈願所として創建。開山は頼朝公の挙兵を促したとされる文覚上人。

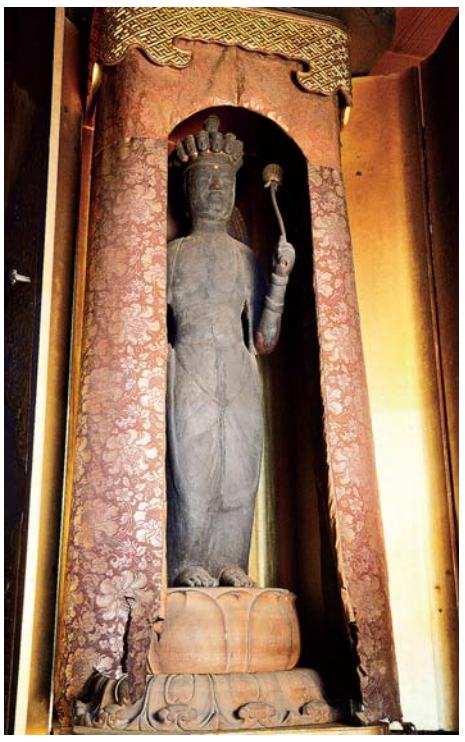
補陀洛とは(仏教辞典によると)、観世音菩薩が住む(降り立つ)山の名、伝説の観音信仰の霊地といわれるが、玄奘(げんじょう)の大唐西域記(西遊記の原本)には観音の霊地がインド半島の南端近くに実在すると記されているそうで、鎌倉の南側であるこの地に頼朝公は時の観音信仰の隆盛とともに観音霊場を開こうとされたのではないだろうか。

さて、その観音菩薩こそ、御本尊、十一面観音菩薩像であります。通称「竜巻寺」ともいわれる補陀洛寺は度重なる災害に遭うが実に多くの御仏が祀られている。いわれによると、災害に誰も運び出せなかったはずの像が難を逃れたとか。仏様が自主避難したのだろうか(笑)。頭が下がります。

本堂はこのように御仏がひしめき合っているようで、御本尊がどこにおられるのか迷うほど。

確か十一面観音さまだったよね、なんて探していると、お寺の奥様が教えて下さいました。薄暗い御厨子に頭上の仏面や化仏十面が暗く見えなかったのです。素朴でやさしいお姿は彫りも全体に浅くキラビヤカではありませんが、あたたかな観音さまです。古き時代より、この地の人々の苦悩を受けいれ、暗闇を照らし、生きる道をお示しになられたのでしょう。護摩や清らかな香でいぶされたお姿には迫力すら感じます。この世の矛盾を受け入れ、運命に負けずに、しっかり生きなさい―そんな慈悲強さがうかがえる観音さまでした。

一本造、彫眼、漆塗。総高122・7㎝。時代不詳。



鎌倉の年中行事 8月

▼鶴岡八幡宮のぼんぼり祭 6～9日。6日15時、夏越祭。17時、俳句会。7日17時、立秋祭。9日10時、実朝祭。正午、短歌会。

▼黒地蔵縁日 10日0時～正午、覚園寺。

▼四万六千日詣り 10日杉本寺、長谷寺、安養院。

▼閻魔縁日 16日14時、山ノ内の円応寺。非公開。

▼鎖大師の施餓鬼法要 16日11～16時、本尊ご開帳。手広の青蓮寺。

▼鵠沼皇大神宮(烏森神社) 17日 人形山車

▼鎌倉宮例祭 19日16時、前夜祭。20日10時、例祭。21日10時、後鎮祭。

▼玉縄首塚慰霊祭 19日18時、ぼんぼり点灯。夕方、玉縄首塚で墓前祭。雨天中止。

▼片瀬諏訪神社例大祭 27日神輿や山車。

プロムナード

海を見ていることで、心が洗われたり、癒されたりした経験をした人も多いと思います▼「長与専斎」という医者をご存知でしょうか。「衛生」という言葉を日本で初めて医学的に用いた人物です。彼が鎌倉は地形的な特徴からも「海水浴場に最適」と発表しました。当時は海水浴に医療行為として期待されており、観光という側面とは異なったかたちで話題となったようです▼現在では、海水浴の医療効果に関して根拠が不明ということもあり、医療的な目的で訪れる人は少ないかもしれません▼海を訪れる目的は人それぞれ異なると思いますが、誰もが安心して楽しめる海水浴場であってもらいたいものです。(N)

鎌倉名産 梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉の街並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町5-5-9
TEL.0467(24)7777(代) FAX.0467(24)7005
http://www.kamakura-standard.com

鎌倉駅より徒歩5分! 鎌倉の葬儀専用斎場
カドキホール
御成町３－５
下馬四ッ角そば
仏式のほか、神式、キリスト、無宗教の方もご利用できます。
家族葬も行えます。事前相談もお気軽に!
詳しくはお電話かホームページで
http://www.kadoki.co.jp
TEL(0467)22-0562(代)
◎下馬四ッ角のマイパーキング鎌倉駐車場に契約してございます。
お車でお越しの方はご利用下さい。

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

暑中見舞い申し上げます
大塔宮 鎌倉宮
宮司 小岩裕一

平成２９年鎌倉宮例祭
8月19日 午後4時 前夜祭
午後6時30分～納涼踊り・夜祭楽市
8月20日 午前10時 例祭
午後6時30分～納涼踊り・夜祭楽市
鎌倉市二階堂１５４番地
電話 0467-22-0318 FAX 0467-22-3755
ホームページ http://www.kamakuraguu.jp/